

世帯と人口

12月1日現在・( )内対前月比

世帯	47,015	(+ 12)
人口	123,780人	(+ 18)
男	63,112人	(+ 9)
女	60,668人	(+ 9)

この数値は平成17年度国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046)231-2111 ㊚(046)233-9118

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>



元気で心豊かに暮らせるまちに…。ひとみを輝かせて遊びに興じる子ども達(海老名中央公園で)

## 健康・スポーツ・文化振興の年に

新年明けましておめでとうございます。

市長就任後2年が経過しました。この間、「住みたい、住み続けたい海老名」の究極目標へ向けて、入札制度の改革、電子市役所への取組み、市民参加条例の制定・施行、指定管理者制度および外部評価制度の導入など行政事務事業について大小さまざまな見直し・改革を実施してまいりました。これと併行して財政改革を進め、身軽な市政経営を目指して第三セクターの(株)海老名公共サービスの整理、市民休暇施設の廃止、市債のうち可能なものの繰り上げ償還などを行う一方、財源を確保するため、三位一体改革の中で誕生した国のまちづくり交付金の獲得、基金再編を行って時代の要請に適合した「新まちづくり基金」を創設するなど、安定的な財源の確保対策に意を注いでまいりました。

これら一連の行財政改革が一段落し、18年度は本格的に新しいまちづくりを開始する予算の編成を行う所存であり、これには「自立共生都市を創出する予算」という題名をつけました。経済的に自立し、自然と開発の調和がとれたまちを目指し、市民のみなさんと協働しながら大きく前進する年にしたいたいと思っております。

18年度以降の数年间は、さがみ縦貫道路の開通に対応するための幹線市道の新設・改良のほか、海老名市独自の企業誘致施策の確立など、大小さまざまな課題が山積しています。

また、今年度の行政事業強化テーマは「防災・防犯・交通安全の年」ですが、18年度は、「健康・スポーツ・文化振興の年」とし、市民のみなさんが元気で心豊かに暮らせる海老名市を目指し、各種事業を展開する予定です。

今年も市政に関する情報を必要の都度、市民のみなさんに提供してまいります。市民のみなさんからはこれに対してご意見、ご要望をいただき、ともによりよい海老名市をつくっていききたいと思っております。

平成18年 正月

海老名市長 内野 優